

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度 第7回高士区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 自主的審議事項（公開）

・旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について

① ふるさと高士まつりについて

② ノルディックウォークの開催結果について

③ 今後の進め方について

## 3 開催日時

令和4年10月20日（木）午後6時30分から午後8時まで

## 4 開催場所

高士地区公民館 大会議室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：青木正紘（会長）、上野秀平、玄蕃郁子、杉田一夫、高橋清司（副会長）

田中利夫、塚田春枝、樋口里美、日向こずえ（副会長） （欠席3人）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【山崎主事】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【青木会長】

・挨拶

### 【山崎主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

#### 【青木会長】

- ・会議録の確認者：高橋副会長

次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「旧高士スポーツ広場の活用策について」の「①ふるさと高士まつりについて」、事務局より説明を求める。

#### 【山崎主事】

- ・高士地区振興協議会との打ち合わせ状況を報告

この間、話し合いに参加いただいた高橋副会長から補足願う。

#### 【高橋副会長】

これまでの経緯を補足する。

9月10日に、各団体の代表者や振興協議会の役員が集まって検討会議が行われた。そこに私と小林センター長で出席してきた。

会議冒頭に、振興協議会長より、8月31日の関係者打合せの報告があり、その後に小林センター長から、高士まつりの素案の資料を基にした予算などの話があった。

やはり高士まつりは住民に認知されているということは共通理解であったので、予算等が問題なければ実施する方向でいきたいということであった。

はじめは、屋外ということで、雨が降った時の対応や、テントの設置など、今までの祭りにない経費が発生することの心配の声もあったが、午前と午後の部ということで、午前は高士スポーツ広場でのイベントとし、午後は今までと同じ内容で実施する形の提案があり、我々としてもそういう形でよいのではないかと了承した。

その中で話し合われたこととしては、会場設置に時間がかかるということや、奥の駐車場の活用や、水道を仮設にするか工事にするのかということ、また設置した場合には、維持管理が大変なのではという不安の意見もあった。

具体的には、蛇口の取り外しの検討だとか、排水路をどうするかとか、水道代は振興協議会で負担しなければならないという話もあった。

とりあえず今回は、提案してみることにしたが、今までと桁が違う予算計上になるので、果たして予算が通るか心配だという声もあった。

まつり自体は、実施する方向である。

#### 【青木会長】

午前と午後の部に分けるということで、主催者側の意見はよく考慮されたものである。  
まずは、広場を活用した地域活性化のためには、良い方向に進んでいると思う。  
今ほどの説明について質問を求める。

**【塚田委員】**

2部制ということで提案いただき、なるほどと思った。

やはり新しい会場が一つ増えるということは、人の手間も増えるということなので、実際にやるとなると大変なことだと思った。

**【上野委員】**

2部制でやるということなので、ぜひ予算が獲得できればと思っている。

**【青木会長】**

今後も進捗があり次第、報告する。

以上で次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「旧高士スポーツ広場の活用策について」の「①ふるさと高士まつりについて」を終了する。

次に「② ノルディックウォークの開催結果について」、事務局より説明を求める。

**【山崎主事】**

- ・上野委員へ報告を依頼

**【上野委員】**

体育協会では、地域活動支援事業の採択をいただき、先日ノルディックウォーキングを実施したので、その結果を報告する。

経路は、高士地区公民館をスタートし、妙油町内、旧高士スポーツ広場、飯田町内、飯田川の桜並木を通り、高士地区公民館をゴールとして、約3キロを歩いた。

参加者に旧高士スポーツ広場の資料を配布し、現況を見ていただいた。参加者の中には、「あそこが校舎のあった場所だ」「このグラウンドで野球をやった」と懐かしく思い出しながら話をしていました。また、「こんな良い場所があるから何かできればよい」との意見もいただきました。

当日は、高士地区婦人会、食生活改善推進委員、上越市スポーツ推進委員からも協力いただき、豚汁のふるまいや出前講座、交流会を行った。

年内に、岩の原葡萄園の方向に行く計画もしたいと思っているので、ぜひ参加願う。

**【高橋副会長】**

私も参加したため、感想や気づいた点を発言する。

当日は、天気が良くて秋晴れで、非常にコンディションがよかった。

今回歩いたコースは、車ではよく通るが、歩くのは初めてであり、様々な発見があってとてもよかった。歩きながら、参加者の方と色々な話をしたことが非常に楽しかったのと、主催者の方の細かな気配りや計画により、非常に楽しくウォーキングすることができた。

参加者の中には、スポーツ広場の存在そのものを知らない人たちが結構いたので、今回のウォークを通じて認知されたと思っている。個人的には、せっかくグラウンドで休憩してお茶を飲んだので、時間があればグラウンドを一周したかった。

あと、スポーツ広場の駐車場はかなり広いスペースがあるので、70台から80台は楽に停められると思う。綺麗に整備すれば、100台は可能かと思っている。

#### 【上野委員】

現状を見て思ったことを話す。

まずは、10月1日に振興協議会、高士地区体育協会、高士消防団の34名で、あそこを除草した。従って、10月16日にウォーキングをした時には、非常に綺麗になった状態を見ていただいたということである。

2つ目としては、今、高橋副会長からも話の合った駐車場だが、あそこを区画するためには、ロープを設置する必要があると思っている。

3つ目としては、グラウンドのところには野球ができるようにマウンドがある。従って、そこが斜面になっている。そこでつまずいたりすることがないように、対策をどうするかということ。

4つ目としては、今、安全ネットを買うように予算として上げているが、これは安全のために必要なものだと思っている。妙油川の方のネットは現在あるので、来年の春には張って、安全の対策をしたいと思っている。

それと、先ほど高橋副会長からも話があったが、やはりスポーツ広場を知らない人が非常に多い。卒業した方でも知らない、体育館や研修棟がなくなったことも知らない、整備を誰がやっているかも分からない。特に、スポーツ広場から遠い町内の人は認識がない現状があるので、広場の存在を知らしめる必要があると思った。

最後に、体育協会でもいろいろな事業をやっているが、やはりコロナ禍もあり、皆で話し合う場がない。何か事業をやらないと、話し合う場がない、情報が流れないということがある。人との交流、話し合う場を作る必要があると私は思っている。

**【青木会長】**

今ほどの説明を受け、今後の活用に向けて、改善点や発展性を検討する。

意見のある委員の発言を求める。

**【上野委員】**

今回のノルディックウォークでは、滞在時間が短かったため、水道等は全く必要なかった。

ただ、広場でまつりをやるとなると、約2時間は必要だと思う。そうすると、ライフラインはどうしても必要になってくる。最低限、水とトイレは必要になる。

もし予算がつかなかった場合は例年通りに戻すということであったが、やはりスポーツ広場を認知させるためには、あそこでやってみる必要がある。ここが駄目だということが分かれば、地区としても何らかの方策を考えなければいけない。予算がつかなかったらやめるということではないと思う。

毎回言っているが、広場の利用を通じて、地区に認知させていけばよいと思う。

**【小林センター長】**

事務局から質問する。ネットは一度張ったら張りっぱなしなのか。

**【上野委員】**

春にネットを張って、秋のシーズンが終わった後にネットを下げる。体育館があった頃はそこに格納していたが、この3年間は外に出たままになっている。

先日ネットを確認した際には、そんなに穴も空いておらず、紐が切れているような状況でもなかったもので、大丈夫である。

**【小林センター長】**

もう1点。体育協会で保有しているニュースポーツの用具で、あの広場で遊べるものとして有力だと思うものを、いくつか教えていただきたい。

**【上野委員】**

ニュースポーツとしてあそこでできるのは、まずグランドゴルフ、キンボール、ゲートボールなどである。あとコーンとバーはあるので、何かやるときには区画はできる。

あとは、通常の野球やソフトボールなどができると思う。

**【青木会長】**

グランドゴルフをやるには十分な広さがある。

**【上野委員】**

グランドゴルフは、主催者側でいくらでも距離を延ばせる。

あそこのスポーツ広場を使えば、2面できると思う。

**【青木会長】**

今回、実際にやってみて、いろいろな改善点などが出てきたと思う。

いただいた意見は、今後の参考とする。

以上で「② ノルディックウォークの開催結果について」を終了する。

次に「③ 今後の進め方について」に入る。事務局より説明を求める。

**【山崎主事】**

- ・広場の活用策に係る進捗報告および地域活性化の方向性の作成のため、町内会長との意見交換会の開催を提案

**【小林センター長】**

- ・補足説明

**【青木会長】**

今ほどの提案について検討する。

意見のある委員の発言を求める。

**【上野委員】**

この地域活性化の方向性というものはいつまでに作成するのか。

それと、町内会長のみではなくて、各団体長も一緒に呼んではどうか。そうすれば、何度も意見交換会をする手間が省ける。

**【青木会長】**

私も個人的には賛成である。

**【小林センター長】**

作成期限について回答する。

明確な期限はないが、一つの目標としては、3月末までに作成していただきたい。

**【杉田委員】**

できれば、たたき台があった方が良くと思う。地域にどんな資源があるかなどを拾い上げていただきたい。

**【玄蕃委員】**

突然のアバウトな話で、何と結び付けたいのか分からない。多分、市の方では考えがあるのだと思う。

おそらく、地域独自予算を市が審査するときのポイントとして、高士地区はどんな方向性を持って、どういう事業をしていくのか、例えば予算付けのための重要な方向性になるのだと思う。今までの地域活動支援事業でも、地域協議会の採択方針というものがあつたと思う。

もう地域協議会では審査できないので、やはり自分たちが何をしたいのかということ、市に理解していただかないと、予算取りはすごく難しくなってくるのではないかと考えた。

名立区や牧区の方角性の内容は、バラエティに富んだというか、全体を網羅した形になっているが、高士区は最初から違っている。

11月に地域と話し合いをするといっても、私達もよく掴めていない状況で、皆さんから集まっても、何を話したらよいか、私には分からない。

そのため、杉田委員の言うように、アウトラインを自分たちで頭に収めておかなければ、説明もできないし、自分の意見も言えない。

作成期限についても、3月末で遅くはないのか、疑問に思った。

#### 【小林センター長】

ご指摘の件について、明確な回答ができないのは本当に申し訳ない。方向性がどのような使われ方をするのかについては、実ははっきり説明できないというのが正直なところである。

私のイメージでは、玄蕃委員が言われた通り、これまで地域活動支援事業のときに掲げてきた採択方針のように、この方向性も使われていくのではないかと考えている。

それと、先ほど杉田委員から提案のあつた、たたき台を事務局で示すということである。確かに、たたき台があつたほうが、具体的な意見が出やすくなると思う。

ただ、地区の方角性を決めるということにあたって、あまり事務局から特定したものを示すのはどうかという心配もある。

事務局としては、意見交換をする前に、高士のデータを拾い上げることは可能である。例えば人口データであつたり、最近の催し物、新聞に掲載されたものや、高士区だよりなど、話の材料となるような情報を提供することは可能なので、その中から、高士の特色を考えていただけるような会にできたらと思っている。

#### 【田中委員】

今言われたように、そういう資料があればよいと思う。

ここに住んでいても、高士で今何をしているかと聞かれても分からないことが多いので、そういう資料を出してもらえれば、考え方も変わるのではないかと考えている。

#### 【青木会長】

地域協議会の役割は、昔とは変わってきている。

最初は、市からの諮問事項に答えることが主な仕事であったが、今は、地域の意見や要望などをまとめていく役割が求められるようになった。

地域のためになるのであれば、大いにやるべきだと思うし、大きな流れに乗ることで少しでも活性化できるのであればよいと思っている。

#### 【塚田委員】

はっきり言って戸惑っているが、玄蕃委員は読みが深いと思って感心している。

確かに、こういう話し合いの場を持つということは非常に大事なことだと思うが、私の中では、どうやって住民の意見を集約できるものかと悩んでいる。

町内会長との意見交換という提案があったが、もっと若い人からも参加してもらった方がよいのではないかと考えた。

#### 【樋口委員】

久しぶりの出席でよく分かっていないが、塚田委員と同じである。

#### 【高橋副会長】

私もよく分かっていない。

ただ、今までには「教育の高士」だとか、「スポーツの高士」だとか、そのような言葉を耳にしている。

そういうことを考えると、過去の振興協議会の活動や行事、各団体の活動の内容や目標などを見たりして、高士がどういう方向で進んでいるのかを確認することは必要だと思った。

過去の皆さんがどういう方向性でやってきたか、その辺を踏まえながら、今後の高士の目標を立てられればと思っている。

#### 【日向副会長】

今までも、確か町内会長を呼んで、高士の良いところとか、ここが困っているという話を何回かしてきた。

過去に行われた意見交換会でいただいた意見の中から寄せ集めて、この方向性の構成要素を拾ってもよいのではないかと考えている。



今、小学校では善兵衛学習が一生懸命で、11月にはその延長で山梨県に修学旅行に行く。子どもたちにとっても川上善兵衛というのはすごい偉人で、このように先人を大事にしているのも高士のいいところだと思う。

文化祭では、善兵衛さんの劇をやることになっていて、実は私も子どもの頃にやったことがある。子どもたちの教育の面でも、いい地域だと日々思っている。

先ほど上野委員からも話があったが、今は小学校のPTAでも、会議すらない状況で、授業参観も学年ごとに時間が決められている。そのため、お母さんたち同士の交流の場がほとんどない。

このような状況からも、やはり皆さんで集まる場の一つとしても、町内会長や各種団体との意見交換会は大事だと思う。

#### 【小林センター長】

方向性について、答えを出すことの難しさはよく分かった。

ただ、意見交換を実施することやコミュニケーションをとることの重要性は、多くの委員から発言があった。

そのため、改めての提案としては、今回は、町内会長をはじめ団体の皆さんから出席いただき、まずはざっくりぼろんな意見交換をしたいと思います。現状の高士をお互いに知るという形で、あまり方向性を前面に押し出さない形で開催してはどうか。

そして、そこで出た意見を拾い上げながら、地域協議会で方向性を決める材料にしたいと思う。

#### 【青木会長】

この間のスポーツ広場についての審議の報告をするとともに、今回、一度初心に戻って、高士をどうしていきたいかという話をする会にしたいと思うが、いかがか。

#### 【玄蕃委員】

11月に話し合いをしたときに、落としどころがなくてよいのか。

私たちの中では、もうある程度決まりかけてきていて、あのスポーツ広場に大人から子どもまで集える場所にしていきたいということだと思う。

アバウトに話をするわけなので、いろんな意見が出て集約できないかもしれないが、それでもよいのか。

#### 【小林センター長】

今はそれでもよいと思っている。

というのは、我々も焦点が絞り切れていないことに「焦点を当てて話をしてください」ということは、無理だと思っている。

そのため、事務局では情報を集めて、方向性とはどういうものかという落としどころが見えてきたら、皆さんに情報共有したい。

提案の逆を言えば、それが見えないから、今回は意見交換を実施しないという手もある。方向性の使われ方が見えてきてからやるということである。

#### 【玄蕃委員】

来年度事業をしようと予定しているところがあるのに、方向性がまだ作成できないのでは、絶対予算は通らないと思う。

祭りをやりたいと言っている以上は、アウトラインぐらいは方向性を出していかなければいけない。

なので、センター長の言うように、よく見えていないけれども、方向性を出していく必要はあると思う。

#### 【塚田委員】

ぶっちゃけた話をすると、結局は高士まつりをやるためのインフラ整備には、大きな予算が必要になる。それを獲得するための、作戦会議の場ということではどうか。抽象的な話はあまり得意ではない。

#### 【青木会長】

個人的には私もそう思う。

これまで一生懸命議論してきて、とにかく皆が集まる場所を作るということで、高士中学校跡地を活用しようというふうになってきたわけなので、よいと思う。

それでは、町内会長や団体との意見交換会の開催について、賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

実施時期や具体的な内容は正副会長と事務局で検討する。

以上で次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について」を終了する。

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

・次回の協議会：別途調整

その他、何かあるか。

#### 【日向副会長】

- ・閉会の挨拶

**【青木会長】**

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : [chubu-machi@city.joetsu.lg.jp](mailto:chubu-machi@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。